

# 原木流通通信 (11月号) **Forest**

## 秦野市菖蒲貯木場

7ヶ月ぶりに開催された10月の市、取扱量は1,500<sup>3</sup>mを超え、例年に比べ増加したものの優良材に恵まれず、市の開催が危ぶまれましたが、9月末に諸戸林業からまとまった量の優良材の入荷があり、無事に秋季市を開催することができました。

入荷は、系統の組合から333<sup>3</sup>m<sup>3</sup>、県・町関係から699<sup>3</sup>m<sup>3</sup>、民間の事業者から512<sup>3</sup>m<sup>3</sup>となりました。

販売状況は、ヒノキの構造材を中心に全品目に注文が入っており、好調な売れ行きとなっていますが、取扱量の大半がB・C材となり、建築用材は先月同様に供給不足となっています。

相場は、依然として無い物高で、特にヒノキの構造材は引合いが強く堅調に推移しており、市売りだけの平均単価は26,554円と幸先良い下半期のスタートができました。



現在の合板用丸太の買取価格		合板用素材の基準等
区分	買取価格	・材長:4m造材は、4.10(4.07~4.13)m。 ・直径:樹皮を除く末口最小径18cm以上、元口径は最大58cmまで。 ・神奈川県産の間伐材で合法伐採されたスギ・ヒノキに限る。
スギ	6,100円/m <sup>3</sup>	
ヒノキ	10,100円/m <sup>3</sup>	

## 秦野市堀山下貯木場

伐採シーズンを迎え、貯木場への入荷が順調に増えており、10月の入荷量は154<sup>3</sup>m<sup>3</sup>となり、バイオマス燃料やパルプ用として活発な荷動きとなっています。

一方、土木用材の需要は落ち着いてきており、今月は113<sup>3</sup>m<sup>3</sup>の取扱に留まりました。

これから年度末に向けて出材量が多くなる中、C材の有効活用を進めてまいりますので多量の出材をよろしくお願いたします。

※11月16日(金)より津久井貯木場への木材の受け入れを開始します。出材についてのお問い合わせは生産販売課までお願いします。



現在のC材の買取価格	C材の基準等
3,200円/m <sup>3</sup>	・C材のみの入材に限る。(末口は8cm以上、材長は3m4m別)

## 秦野市菖蒲小径木加工場

10月の小径木の入荷は少なく、原材料が不足しております。引き続き積極的な小径木の出材をお願いいたします。

製品の注文は増加傾向にあります。今後の注文に備え在庫生産に努めてまいります。ご注文の際は早めにお願いたします。

なお、小径木原木(虫害材も同価格だが、著しいトビクサレ等の被害木は除く)は、下記の単価で買い取らせていただきます。

3m	9cm~13cm	7,000~9,000
4m	9cm~14cm	8,000~10,000



【10月の市況等】				(m <sup>3</sup> あたり単価)			
スギ	3m	柱目	5,000~12,000円	ヒノキ	3m	柱目	14,000~20,000円
	3m	中目	5,000~12,000円		3m	中目	14,000~18,500円
	4m	桁	6,000~12,000円		4m	土台	12,000~20,600円

### 【お問い合わせ先】

〒259-1332 秦野市菖蒲317番地 神奈川県森林組合連合会 生産販売課

TEL 0463-73-5295(販売) 0463-73-5296(共販・加工) fax 0463-88-6768(1F)